

## 町民の声内容（11月16日）

### 行政施策について

#### 質問「ラジオ受信環境の改善について」

・災害情報ツールとして回答にあるように「有線、無線」があります。しかし日常家にいる住民は「高齢者のみ」の日常環境です。そうした中で災害発生時の情報ツールとして、インターネット、ワンセグ、ケーブルテレビ（全て有料）といったツールを高齢者が扱えるのであれば問題無いのですが、如何ですか？行政として質問に対する回答は「誰に向けた」回答ですか？まして停電時は、自宅で災害情報の収集手段として何がありますか？（山間地での生活環境です。）NHKに個人で問い合わせするのですか？

（災害情報収集手段は防災無線（無料）が唯一の収集手段となります。であれば「防災無線の果たす役割が重要であり且つラジオ並みにリアルタイムに住民が情報収集可能とするならば回答のとおり」

#### 質問「各種スポーツの強化選手育成について」

- ・「スポーツ少年団育成費交付金」の活用状況はどうなっていますか？
- ・交付金申請する為にはどんな条件が、あるいはどんな組織等が必要となりますか？
- ・交付金の存在を認識されている住民（認知・認識）はどれくらいいらっしゃいますか？

#### 質問「統合後の空き校舎の利活用について」

・廃止された施設に対し「検討する」とありますが、今までの廃校で「隼・大江・船岡」の廃校において、事前に「校区と協議あり」とありますが、前述の3校でその都度に「校区民と協議した実績内容を詳細に説明を求めます。（議事録内容の詳細）

説明内容：何時・何処で・参加人員・質問内容・問題点と課題

#### 質問「農業の担い手について」

・「いろいろな方面から問題解決に」取り組んでいます。とありますが、14校区内で其々校区毎の問題点を列挙してください。

農業委員とJAと連携していると思いますが、JAの「自己改革」3項目とありますが、其々項目ごとの農業委員との関わり状況を教えてください。

- ・データが表示されていますが質問します。

町全体の耕作面積（農地水交付金ベース）はいくらで、集落営農実施が「何団体 何 ha」で全体の何%？

集落営農比率を今後5年を目途に何%にしていく予定・目標を教えてください。

休耕田に対する取り組みとして現在「JAと農業委員」と連携してどんな取り組みをしているか教えてください。

### 質問「まちづくり委員会の立ち上げについて」

・福祉で言っている「まちづくり」とはどんな町ですか？

そして誰を対象とした取り組みですか？

・「シニア大学」について再質問します。

現在シニア大学は、公民館の事業計画の一環として活動していますが、そもそも本大学を公民館の事業計画の取り組みとした「理由・プロセス」を教えてください。

### 質問「さんさんバスについて」

さんさんバス運行計画を検討しています。とありますが、検討について質問致します。

・2年前の小学校・中学校統合がありましたが、さんさんバス運行計画に対する検討〈検討プロジェクト〉を何時から始めましたか、「そして検討時の内容議事録の有無」

結果、課題があったのか？その課題解決に向けてどう取り組んだ結果が、今の各運行ルートとなっているのか。前述プロセスの説明を求めます。

・保育所統合に向けた通園手段として「さんさんバス」を利用するのが一つの（案）ならば「検討委員会」を何時立ち上げましたか？

・さんさんバスに対する「取組みコンセプト」は今後すぐ発生する超高齢化社会（移動難民・買い物難民）に対しての救済事業（行政サービス）としてスタートしたと理解していますが、現在のさんさんバスに対する認識はどう認識すればよいか教えてください。